

知事を先頭に国内外で山梨の魅力PR



梨が誇る高品質な農産物や、観光、産業などをPRするため、後藤知事自ら国内外に足を運び、トップセールスを行っています。

7月中旬には、インドネシアを訪問。同国への県産果実の輸出拡大を図るため、現地の輸入業者や小売業者、消費者に品質の高さをアピールしたほか、さらなる観光客誘致に向け、現地メディアや観光業者らに山梨の魅力を紹介しました。



フィリピンのパンパンガ州関係者に、山梨の魅力をPR

8月下旬には、ベトナムとフィリピンを

相次いで訪問。初めてのトップセールス実施となるフィリピンでは、マニラの旅行業者に山梨の魅力を説明を行ったほか、パンパンガ州を訪問し、今後の友好関係の構築に向けた意見交換を行いました。また、県内の企業と連携して桑の葉茶の製造・販売に取り組んでいるパンパンガ国立農業大学では、名誉博士号を授与されるとともに、記念植樹を行い、交流を深めました。

一方、国内においては、東京都内の駅ビル内にある青果店で、人気の高いブドウ「シャインマスカット」などを大勢の消費者にPRしました。



都内でシャインマスカットの試食会などを行い、品質の高さをPR

日本ワインコンクールで 県産ワイン11点が金賞に輝く

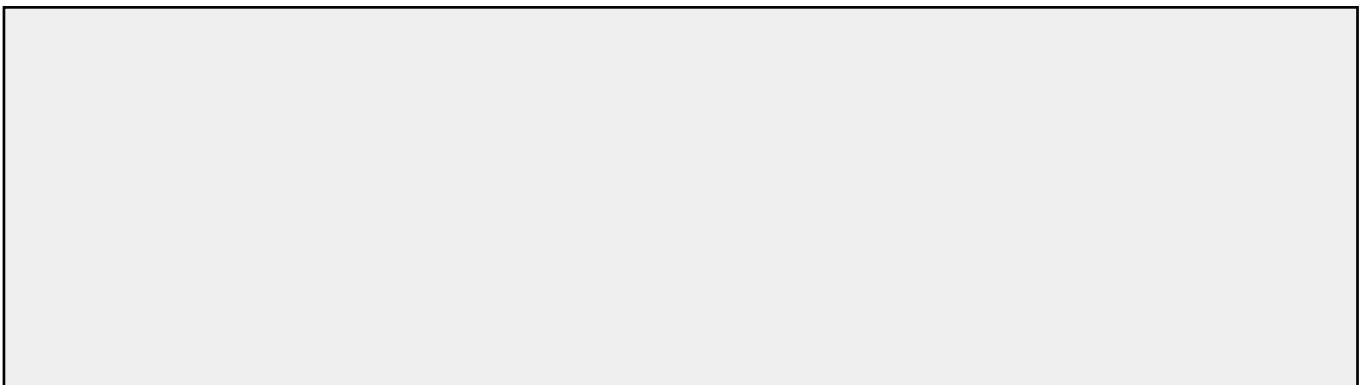


産ブドウのみを原料とするワインを対象とした「日本ワインコンクール2018」が甲府市内で開催されました。16回目となる今回のコンクールには、全国のワイナリーから787点のワインが出品され、金賞に選ばれた22点のうち、半数の11点を山梨県内で醸造されたワインが占めました。日本ワインの品質は近年大きく向上し、国内外における人気も高まりを見せています。今後、このコンクールを通じて、日本ワインの魅力を発信していきます。



金賞を受賞した県産ワイン11点。うち3点は部門最高賞を受賞

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。



**「やまなしで働く魅力」
若者座談会第1回を開催****県**

では、若年世代の定住促進に向け、高校生や大学生が本県で働く魅力を考える機会となるよう、座談会を開催しています。第1回目は、県立農林高校で開催。市川三郷町に移住し、有機農法で野菜を栽培している、ねづ農場の根津弘毅さん・美奈子さん夫妻が、山梨の豊かな自然環境の中で働く魅力や就農支援制度の充実などについて語った後、高校生と意見を交わしました。今後も、県内の高校や県内外の大学で、20回にわたり開催し、若者の県内定着を図っていきます。



高校生からの質問に答える、ねづ農場の根津夫妻

富士の麓に完成「富士ウッドストリート」**8**

月、富士吉田市にある富士北麓公園内に屋内練習走路が完成しました。この施設は、2020東京オリンピックパラリンピックやラグビーワールドカップ2019の事前合宿などの誘致や県民のスポーツ振興に向けて整備したものです。施設の愛称は、全国から応募があった5千件を超える候補の中から、壁や天井に県産材を使用した施設の特徴がイメージできる「富士ウッドストリート」に決定しました。



新たに完成した施設の前でテープカットをする後藤知事ら

オープン当日は、同公園で2020東京オリンピックの事前合宿を行うことが決まっている日本代表男子陸上短距離チームの選手らが、地元ジュニア選手たちと一緒に走り初めを行いました。施設には130mの直線走路5レーンのほか、走り幅跳び、三段跳び、棒高跳びの練習設備も備えています。

今後、この屋内練習走路が、国内トップレベルの合宿地のシンボルになるとともに、県民の皆さんのスポーツ振興の場となることが期待されます。



バトンリレーを行うジュニア選手と日本代表男子陸上短距離チームのメンバー

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。

